

ポケットパークの工事中にワークショップをしました

昨夏、地域の方々と行ったポケットパークのデザインをするワークショップ。今度は、完成間近の現地で工事中にも関わらず、ワークショップをしました。

☆目的は

より、地域の方々に親しんでもらおう。思い出を積み重ねて、将来、子どもたちが大人になったときに「そういえば、ここでこんなことしたなあ。私の子どもにもさせてあげたいなあ。」と岡崎に住んでほしい。という遠大な(?)期待も込めて行いました。ということで、子ども達の参加が大前提でした。



☆内容は

- 夏のワークショップと実際のポケットパークの関連の説明
- インターロッキングの話（構造や透水性、原産地など）
- インターロッキングの透水性の実験をしよう
- インターロッキングの裏に絵を描き、職人さんにその場で配置してもらおう
- 茶話会とおしるこ

参加したのは、子ども会の子どもたち 20 人ほど。保護者、地域の人々など大人 40 人ほどでした。

☆参加者の様子

透水性の実験は、用意した 4 つの各テーブルで行いました。子どもも大人も一緒になって実験を楽しみました。

インターロッキングに描くのは子どもだけだろうと予想していたのですが、こちらも大人も子どもと差なく描き、楽しんでいました。

* 普段やってはいけないこと「テーブルの上にブロックを置くこと、その上から水をかけること、公園のブロックに落書きすること、工事現場に入ることなど」をおおっぴらにできることは、年齢関係なく楽しいことが分かりました。思い出に残るイベントになりました。